

2018年 InnoTrans2018視察ツアー

2017年に引き続き、みちのく軌道会の軌道工事の業務革新の取組みとして、今後の機械化、自動化、ロボット化を見据え、海外の保線技術を学ぶべく、InnoTrans2018（イノトランス2018）視察ツアーを行いました。

ツアーは、7日間で13社18名が参加しました（平成30年9月17日～9月23日）。



InnoTransは2年に1度、9月第4週に4日間、ドイツ ベルリンで開催される世界最大規模の国際鉄道技術専門見本市です。今年で12回目、61カ国から3,062社の出展があり、各国の創意に富んだ最新機器や最新大型機械などの展示がありました。

海外の保線に関する考え方や発想に参加者は興味津々で、様々なメーカーと意見交換を行いました。今回得た知見により、今後は益々の機械化と作業環境の改善に取り組んでいきます。



軌陸バックホウによるバラスト吸引機械



バッテリー式レール切断機



クレーン付運搬車



軌陸式バギー